

平成28年度 古川西小学校 グランドデザイン

※開校47年目を迎えた、地域の願いが詰まった学校
 校区：恵まれた自然環境、伝統や歴史、連帯意識、勤勉・創意工夫
 ※卒業後は大規模中学校へ進学

【だから】心の豊かさ 心身のたくましさを！
 そして「共生・自立」

<28年度古川西小学校教育の重点>

- 1：一人一人に「確かな学力」と「学ぶ力（学びとる力）」を付けるために、児童が主体的に学ぶ授業にします！
- 2：目的をもって家庭学習に取り組む力を付けます！
- 3：自治自浄力（自分たちで生活を向上させる力）を高めます！
- 4：毎月28日は「命の日」健康安全指導をさらに充実させます！
- 5：ふるさと教育を充実させます！

学校の教育目標 ふるさとを誇りに思い 心豊かでたくましい古川西の子

○かしこく ○やさしく ○たくましく

願う子ども像<合い言葉>：「すてきな友だち がんばる自分」（共生・自立）

- すてきな友だち
 - ・温かく聴き やさしく話す
 - ・ありがとうの木にたくさんの実を实らせる
- がんばる自分
 - ・「わかる」「できる」ようにするために学ぶ、努力する
 - ・あいさつ、返事、大きな声、堂々とした受け答えができる
 - ・相手意識をもち、相手に分かるように話す（「～です。（わけは）～です。」と結論に根拠をつけて話す）
 - ・「古川西の子4つの宝・9つの挑戦」を実行に移し、人の役にたつ

<「生きる力」を育む>
 ○確かな学力 ○豊かな人間性 ○健康や体力

<岐阜県教育ビジョン>
 高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、
 家庭・地域・職場でゆたかな人間関係を築き、
 地域社会の一員として考え行動できる「地域社会人」
 ○自立力 ○共生力 ○自己実現力

<飛騨市の教育方針>
 『ふるさとを愛し たくましく生きる力を育む教育』

こんな学習習慣をく学びづくり指導部>

- ◎相手意識をもって話す教師、児童（大きな声、話す速さ、体の向き）
- ◎相手の考えを分かろうとして聴く教師、児童（反応する、つなげて話す）
- ・書く力を付けさせるノート指導（学期毎のノート展）
- ・めあてをもたせた学習習慣づくり（「学習の約束」の有効活用）
- ・いろいろな本を好んで読む児童を育てる読書指導

かしこく<学びづくり>

学力向上を目指す指導

学びが定着する学習習慣づくり

- ・わけを付けて話す：75% → 100%
- ・分かりやすく話す（声の大きさ、話す速さ）： → 80%
- ・図書館の本を目標冊数より多く読む： → 100%

こんな学力向上の取組をく研究推進>
 研究テーマ：学力向上を目指す算数科の授業改善と
 日々の効果的な指導の追求
 ～根拠を明確にして表現し、仲間と深め合える子～

- ・3つの見届け
- ・全員に考えをもたせる算数活動
- ・視点を明確にした交流
- ・思考型、習熟型を明確にした授業
- ・学力向上の取組（少人数指導、朝活動と放課後タイム、長期休業）
- ・目的意識をもって取り組ませる家庭学習（宿題、自主学習）

こんな活動をく仲間づくり指導部>

- ◎PDCA サイクルを大切に話し合い活動
- ・リーダーを育てる委員会活動、仲よし班、通学班
- ・「古川西の子4つの宝9つの挑戦」を実現する児童会活動
- ・よりよい生活を創る諸活動（委員会活動、集会活動、係活動、当番活動、話し合い活動）
- ・所属感連帯感を育む学校行事
- ・歌声活動の推進（朝夕の歌活動、歌声集会）

やさしく<仲間づくり>

仲間のよさに気づき、 自分からよりよい関わりを促す活動と仲間づくり

- ・げた箱のくつ、トイレのスリッパをそろえる：70%→90%
- ・大きな口と声できれいに歌う：83%→90%
- ・「ありがとう」と言える：71%→85%

たくましく<からだづくり>

自分の命は自分で守る 自分の健康は自分で考える 自分の体力は自分で向上させる

- ・右側歩行（安全に気を付けて生活）：72%→80%
- ・ハンカチ、鼻紙、手洗い、うがい： → 90%
- ・外で元気に遊ぶ： → 100%

こんな取組をく心とからだづくり指導部>

- ・判断力、行動力を重視した「命を守る訓練」
- ◎28日の「命の日」に命の指導
- ・登下校や学校生活の計画的な安全指導
- ・養護教諭、栄養教諭による「健康教育」「食育」
- ◎体力の向上を図る業間活動（ジョギングタイム他）
- ・講師を招いての健康教育、水泳指導

古川西の子 「4つの宝 9つの挑戦」

<4つの宝> ・くつ、スリッパそろえ ・「さん」付け呼び
 ・大きな口と声、きれいな歌声 ・ピカもく時間いっぱい掃除

<9つの挑戦> ・わけを付けて話す ・分かりやすく話す
 ・多くの本を読む ・「ありがとう」 ・目を見て聴く ・目を見てあいさつ
 ・右側歩行 ・外で元気に遊ぶ ・ハンカチ、鼻紙、手洗い、うがい

豊かでたくましい 心づくり

自分も相手も大切にす心 感謝の心 ふるさとを誇りに思う心 正しい判断・行動力

- 目を見て聴く：88% → 100%
- 「さん」付けで呼ぶ：96%→100%
- 目を見てあいさつする：70%→80%
- ピカもく時間いっぱい掃除：81%→90%

体験を通して進める「心の教育」<心とからだづくり指導部>

- ◎あいさつ運動、あったかい言葉かけ運動
- ・「がんばる」「認められる」サイクルで育てる自己肯定感
- ・心のアンケート（年3回）、教育相談週間の積極的活用、SCの活用

体験を通して進める「心の教育」

- ・道徳的実践力を育てる道徳授業<道徳教育推進教師>
- ◎仲間のよさやよい行動を奨励する「ありがとうの木」<児童会担当>
- ・児童の心に響かせる児童集会の話<児童会担当>

「地域を知り 地域に学び 地域の方の生き方にふれ
 地域に貢献する」活動<ふるさと学習：教務主任>

- ・自分たちで主体的に動く栽培活動
- ・地域の教育力を生かした「生活科」学習、3、4年「地域見学」
- ◎地域に学び、地域に出て行く「総合的な学習の時間」

<家庭・地域>：学校、家庭、地域の三者協働で古川西の子を育てる。
 ・家庭と学校が連携して取り組む「見守りシート」 ◎学校支援ボランティアの発掘と活用 ・開かれた学校づくり：学校だより全戸回覧、学校HP、授業公開 ・校区会との連携（年5回の懇談）

<教師の姿>：使命感・倫理観をもち、教師力の向上に努める明るい教職員集団！ 子どもに「寄り添い」、「やる気スイッチON」にし、できたことを認め励ますことで「自信と誇り」をもたせる！

- ・子どもの「夢」（「こうしたい」「こうなりたい」）に寄り添う
- ・子どもの「心」（「いやだな」「やる気がしない」）に寄り添う
- ・一人一人のよさに気づき、認め、伸ばすことでやる気スイッチON
- ・一人一人に合わせた声かけや指導援助でやる気スイッチON
- ・「できた！」「わかった！」という自信を次の夢（目標）につなげる
- ・様々な活動を仲間、家族、地域への感謝と誇りにつなげる